

第 405 回集談会（ご案内）

1. 日時：2009 年 4 月 20 日（月）16:30～
2. 場所：2 A 講義棟（中央棟 2 階）
3. 座長：薬理学教室助教 中川西 修先生（内線 3702）
4. 演者：薬物治療学教室助教 菅野秀一先生 内線（3411）
5. 演題：海外留学報告/カナダブリティッシュコロンビア大学バンクーバー総合病院前立腺センター
6. 要旨：前立腺癌は、欧米のみならず本邦でも近年急速に増大しているがん疾患である。私の留学したカナダブリティッシュコロンビア大学バンクーバー総合病院前立腺センターの Martin E. Gleave 教授は、前立腺癌に対する合成アンチセンス治療で著名な研究者である。特に、前立腺癌患者で薬物療法中にホルモン療法が無効例化患者における種々の分子標的をスクリーニングした基礎実験と臨床トライアルで世界的にこの分野をリードしている。私は、教授らが見出した分子標的の一つである熱ショックタンパク質 Hsp27 の機能を 1) Hsp27 over expression transgenic/PTEN-knockout mice のハイブリットマウスを確立し *in vivo* で精査、2) siRNA High through-put cell screening system 法による Hsp27 knock down による gene silencing の網羅的解析を行った。さらに、近年新しいタイプの抗癌剤として認可された経口投与可能な分子標的治療薬 sorafenib の前立腺癌に対する作用機序を検討した。本集談会では上記について得られた研究成果の一部、ならびに現地での海外留学生活について報告する。